

授業科目

生理学実習

担当教員名 安達 智恵子	対象学年	1	対象学科	臨床
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	○

授業の概要

人体の生理学的機能を実際に測定機器を使用して計測を行う。

授業の目的

生理学で学んだ人体の機能の事象を見ることによって恒常性の維持について理解を深める。

学習目標

1. 正常な循環機能を説明できる。
2. 正常な呼吸機能を説明できる。
3. 体液・血液の生理機能を説明できる。
4. 消化酵素の働きを説明できる。
5. 正常な感覚機能を説明できる。
6. 正常な内分泌機能（血糖調節）を説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1-3	血圧、心拍数の測定	講義・実習	安達 智恵子
4-6	血圧、心拍数の測定	講義・実習	安達 智恵子
7-9	心電図、呼吸機能検査	講義・実習	安達 智恵子
10-12	心電図、呼吸機能検査	講義・実習	安達 智恵子
13-15	腎臓における尿生成	講義・実習	安達 智恵子
16-18	体温の測定	講義・実習	安達 智恵子
19-21	血糖値の測定	講義・実習	安達 智恵子
21-24	まとめ	講義・実習	安達 智恵子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	人体の構造と機能（第3版）	佐藤昭夫、佐伯由香、原田玲子編集	医歯薬出版	2013年	2,800円＋税	
	生理学実習NAVI	大橋敦子監修	医歯薬出版	2015年	2,400円＋税	
参考書						
その他の資料	配布資料					

評価方法

レポート40%、定期試験60%

履修上の留意点

生理学で学んだことをしっかりと認識して実習に臨むこと。知識が不足している場合は実習に参加できないことがある。また、実習に相応しい容姿と態度で臨み、積極的に取り組み、全ての実習項目に出席し、かつ全てのレポートを提出すること。レポートの提出期限は厳守すること。

生理学実習は他の科目に関する基礎実習を含むため、生理学の参考書としては、図書館にて多くの本を閲覧し、実習内容について知識を深めること。

オフィスアワー・連絡先

月曜日3・4限、火曜日3・4限 N303研究室 hiroaki-watanabe@nuhw.ac.jp